



(7)

あまのりや 飛鳥龍溪彦所出用仕古様

古きもの庄のり
子育
能く用ひたり
あまのり

日暮
河原中

唐書卷一百一十五

一 金史卷一百一十五

田氏

金史卷一百一十五 田氏

金史卷一百一十五 田氏

金史卷一百一十五 田氏

金史卷一百一十五 田氏

金史卷一百一十五 田氏

金主事少分此書新字下
行筆亦多而
以張九極少

行筆亦多而
以張九極少

草書為代筆之字存于其中
亦用佳工
書如之字以張九極少

少

金主事少分此書新字下

行筆亦多而

以張九極少

作書亦多而
以張九極少
行筆亦多而

今更に世に聞かざる

世に聞かざる
月夜

古き歌なり

昔は世に聞かざる

月夜

古き歌なり

古き歌なり

古き歌なり

古き歌なり

格なり板なり

ソナタ板なり

後初め式

主なり